

三芳地区タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和4年12月18日（日）13：30～15：00

【場 所】 西条市東予北地域交流センター 多目的ホール

【参加者】 三芳地区連合自治会長など全10人 ・ 傍聴 7人
市長、公民館長、市民生活部長

【次 第】 1 開会 2 挨拶（三芳地区連合自治会長）
3 市長挨拶・事業説明（別添資料）
4 意見交換：テーマ「高齢者の移動手段、三芳小学校の運営方針」
5 まとめ・閉会

概 要

【自治会長挨拶】

今年のタウンミーティングは、地域課題を中心に意見交換する。市と地域の皆さんが共有し、ともに考え、話し合うことで、より魅力的な西条市、住みやすいまちづくりに期待したい。この先の三芳地区について考える絶好の機会であるので、ざっくばらんに発言する会としたい。

I 地域公共交通の現状と課題

- ・ 現在、市の交通網として鉄道（JR予讃線）が伊予三芳線を含む7駅、オレンジフェリーが発着する東予港、バスは3社（瀬戸内運輸株、せとうち周桑株、伊予鉄バス株）が高速バス、特急バス、路線バスを運行している。
- ・ もう一つ、近年市内で予約制デマンド型乗合タクシー（通称：よりそいタクシー）を導入している。西条地域（火・金曜日）、加茂地区（火曜日）、丹原地域（火・水曜日）で運行。
- ・ 全国的な動向として、75歳以上の運転免許返納が急増している。西条市でも年間500人程度が返納している。
- ・ 地方での、乗り合いバスの収支率は85%だが、田野地区を走るせとうち周桑株バスは20%を下回っている状況。
- ・ 収支率の低さが深刻になっており、事業は赤字、また運転手不足が顕著になっている。
- ・ 市内のバス乗車人数は年々減少しており、それに伴い赤字分を市の補助金で補填しているため、補助金額は大きくなっている。（令和3年度：約1億2千万円）
- ・ せとうち周桑バスの1便あたりの利用者数は概ね1～2人。（令和3年度：三芳線は1.5人）
- ・ 瀬戸内運輸バスの今治～小松線は広域幹線で、比較的、利用者は多い（令和3年度：一便あたり8.4人）だが、市内エリアに入ると利用者数は減少する。
- ・ 市では、バス路線見直しフロー図を作成。廃止を含めた再編を検討している。この基準に当てていくと、路線廃止の対象となるのが「三芳線」と「保井野線」。

II 地域公共交通政策における市の方針

- ・ バス事業者と路線廃止フロー図に基づく路線廃止等について協議している。
 - ・ 令和4年9月廃止（済み） 禎瑞（～オレンジハイツ）線
 - ・ 令和5年9月廃止（予定） 今治小松線、保井野線
 - ・ 令和6年9月廃止（予定） 三芳線
 - ・ 廃止を含め見直し対象 関屋線、湯谷口線
- ・ 壬生川線（湯谷口～せとうち周桑本社営業所）を西部地域の循環線として再編できないか検討する。
- ・ 令和5年度によりそいタクシーの実績検証、公共交通ニーズ等のアンケートを実施する。
- ・ それを踏まえ、令和6年度に路線バスが廃止される地域に代替交通導入を検討する。
- ・ 行政の関連事業（バス補助、よりそいタクシー、福祉系バス・タクシー補助）の支出額が年間1億2,700万円（平成30年度の実績額）を超えない範囲で多くの人々が利用できる公共交通を検討する。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
三芳地区でのデマンドタクシー導入時期	
<p>免許を返納し、運転しなくなった人がおり、買い物に行くにも不便である。この地域でもなるべく早くデマンドタクシーが利用できるようにしていただきたい。</p>	<p>デマンドタクシーは、バス路線の代替交通として導入するもの。よって、現在は三芳地区ではデマンドタクシーを利用できないが、令和6年度に三芳線を廃止予定としており、代わりにデマンド交通等を導入予定。 事業者との協議が必要で、準備期間も含めて、早くても令和6年度の導入になると考えている。</p>
店舗、業者との提携	
<p>デマンドタクシーは買い物や通院時の利用が多いと思うので、スーパーなどと提携して、経費面をある程度負担してもらうのはどうか。</p>	<p>例えば、車体にマグネット（広告）を貼ってスポンサー料をいただくことも考えられる。 他市では、デマンドタクシーに乗るとスタンプを押し、それによってスーパーで割引が受けられるところもある。 まずは、デマンドタクシーの制度を浸透させ、各事業者の理解を得られるようにしたい。</p>
移動手段の補助	
<p>バス利用の補助はどうか。 いきいきバスを利用する人は少ない。利便性が悪い印象がある。</p>	<p>いきいきバスは75歳以上の方が安価な料金で市内の路線バスを利用できるもの。路線バスの使い勝手が悪ければ、乗車率は低く利用する人も少なくなる。 バスの収益が上がらず、市が補助金を出すのなら、もっと皆さんに乗ってもらえる公共交通に変えようと現在動いている。</p>
三芳小学校の運営方針	
<p>三芳小学校児童がメンバーの「三芳祝太鼓保存会」は、児童数が減少する中で、存続が危ぶまれている。 今後の小学校の存続をどのように考えるか。運営方針を教えてください。</p>	<p>2019年度（令和元年度）の推計では、2045年に全校児童数が60人未満になる小学校が10校ある。児童生徒や保護者、教員を対象に望ましい学校のあり方についてアンケートを取っており、集計している。 ある地区では、地域に学校を残すために小学校と中学校を統合してほしいという意見もある一方で、部活動ができないので今治東中等教育に進学する生徒もいる。地域と保護者では、考えが少し異なる場合もある。 三芳小学校についても、現状のままが良いか、文化や活動を維持していくために、広域で（近隣校と統合などを）考えるとどうか、アンケート結果を踏まえながら、皆さんからも意見をいただきたい。 まずは、子どもの教育のために一番良い環境を考えなければならない。</p>
<p>児童数が減ることで部活動など、子どもの活動ができなくなっている。その点では、学校を再編（合併）した方が子どもの活動の幅が広がると思う。 施設が多ければ、教員の数も確保しなければならない。一方で、小規模校は見守りやマンツーマンで対応できるなど良い点もある。 なるべく地域間で格差が生じないようにしてほしい。</p>	<p>交通手段、通学手段をセットで考えたい。 児童数の増減は、移住者が入っていることも要因かと思う。子ども連れ家族は、学校の児童数にも影響する。人口維持のために移住を推進しているが、地元で育った人が帰ってくるようにUターンも促進していきたい。庄内では、空き家バンク制度も活用している。</p>
<p>かつては楠河小学校の児童数が多く、次いで、三芳、庄内の順だった。つい数年前に初めて庄内が3校中最大となり、全体的に子どもが減っているのだと実感した。 スクールバスがあれば、学校を合併できるのではないか。</p>	

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
その他：東予運動公園プールの経過	
<p>前回（令和2年度）のタウンミーティングで話題になったプールの存続について、その後の経過を伺いたい。</p>	<p>令和元年度に50mプールのろ過機の故障、スパイラルスライダーの腐食により休止した。2年度にはスライダーを撤去。3年度以降は流水ポンプ3基のうち2基が故障し、1基で運営している。</p> <p>市全体の公共施設マネジメントの方針により、大規模な改修は行わず、施設の寿命到来に合わせて集約化を検討する。市内に2つのプールを存続させることは難しく、これから集約をさせていただきたい。</p>
その他：放課後児童クラブの実施場所、道路の安全対策	
<p>放課後児童クラブは、現在も北地域交流センターで行っているが、小学校から少し距離があることと楠浜北条線開通により安全対策の面から、小学校内に場所を変更してはどうか。</p>	<p>放課後、学校から移動する時に交流センター前の道を横断する必要がある、今後、道路が開通すれば、さらに交通量が増え危険だと言える。</p> <p>大きな流れとして学校施設の中で放課後児童クラブを実施する方向であり、学校とも協議していく。レイアウト図面を見たところでは、多目的スペースを活用できるのではないかと、現場も確認した上で整理していく。</p>
<p>交流センターの前の道を横断する時は、特に注意するように子どもに言っていた。楠浜北条線の開通時、信号機が設置されることはないと思うので、目立つような看板や道路のカラー舗装などで、ドライバーに注意喚起してほしい。</p> <p>子どもが通ることを知らないドライバーもいるので、道路の両側に目立つように設置してほしい。</p>	<p>まずは、学校施設の中で実施することを考えるが、やむを得ず交流センターを継続するのであれば、信号の設置を働きかけることも考える。</p> <p>通学路については、学校等と協議しながら安全対策を実施していきたい。</p>
その他：河北こども園の整備	
<p>前回、こども園園庭の段差を解消できないかという意見があったが、その後の対応はどうなっているか。</p> <p>また、保護者送迎用の駐車場に水たまりができ、足元が悪いので舗装してほしいとの意見が出ている。</p>	<p>園児がけがをした報告もなく、現場の保育士の見守りにより、安全面は確保できていると考える。</p> <p>他方、テラスの昇降口に大きな水たまりができ、登降園の際に危険だったため、令和3年度に雨水排水路を整備した。</p> <p>駐車場の件は、他に優先すべき施設内の修繕等もあることから、状況を確認し必要性の高い部分を補修したい。</p>
<p>【まとめ】</p> <p><市長> 人口減少を前提としながらも、この三芳地域で活動する人を増やすことで、地域の活力を維持していきたい。その方々がまちの中心になって地域の人や子ども達の交流を促してほしい。一緒に活動する人を一人でも多く増やすことがこれからは大切だと思う。行政もしっかりバックアップしながら、進めていきたい。</p> <p><連合自治会長> 西条市の現状、これからの方針を汲み取っていただけたと思う。皆さんの所属団体の中で議論や協議を深め、自治会や市と連携し、三芳地区を良くしたい思いをもって、タウンミーティング等で意見を出し合いながら解決に向けて前進していきたい。これからもより一層お願い申し上げる。</p>	

<当日の様子>

